

令和2年度 第3回 稲沢市廃棄物減量等推進審議会 議事録

日 時 令和3年3月5日（金）  
午後1時52分～2時44分  
場 所 環境センター2階 大会議室

出席委員 足立 三千夫、岩田 知子、内田 英伸、吉田 策男、小久保 規与子、  
林 茂夫、山森 尚代  
欠席委員 月村 正、渡辺 和彦、桑山 桂子  
事務局 岩間経済環境部長、岡田資源対策課長、別府主幹、大平主幹、  
加藤主査、野村主任  
オブザーバー 吉川環境施設課長、小澤環境保全課主幹

<午後1時52分> ●開会

事務局 本日は、ご多忙のところ当審議会にご出席賜り、誠にありがとうございます。この会の進行を務めさせていただきます資源対策課長の岡田稔好と申します。よろしくお願いいたします。

審議会を始めるにあたり、本日の出席は10名の委員中、7名の出席をいただいております。稲沢市廃棄物減量等推進審議会条例 第6条第3項の規定により、委員の過半数の出席がありますので、本会議が成立することを報告いたします。

事務局 それでは、審議会の開催にあたって、経済環境部長の岩間福幸があいさつを申し上げます。

経済環境部長 (あいさつ)

事務局 ここからの議事の進行は、審議会条例 第5条第3項の規定により、会長の足立様をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

会長 (あいさつ)

<午後1時58分> ●議題1「稲沢市ごみ処理基本計画について」

会長 それでは議題1「稲沢市ごみ処理基本計画について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

事務局 <説明>

会長 説明が終わりました。全体を通して、委員の皆さんのご意見はござい

ませんか。

内田委員 資料1-1 稲沢市ごみ処理基本計画（改定案）に対するパブリックコメントにおいて、意見のNO. 8は親族が出したものです。一部文言の違いがあります。資料では、ごみの中間処理施設の整備に関し、長期利用を「図るとともに」となっていますが、元々の意見としては「図るのみならず」。施設の長期利用以外の方策も検討していただきたいというもので、趣旨が変わってしまうため、訂正をお願いします。

事務局 資料の文言については訂正をさせていただきます。  
ご意見いただきましたとおり、今後は他自治体の先進事例も参考に施設の長期利用に代わる方策も検討してまいります。

吉田委員 資料1-2の15ページ市民の取組みに関わることですが、市内で実施されているごみゼロ運動について、今年度は新型コロナウイルスの影響で市内一斉での実施が中止となりました。団体個別での実施については、それぞれの判断に委ねることでしたが、こういった対応は今後続いていくのでしょうか。それとも新型コロナウイルスが下火になれば以前と同様の方法に戻るのかお聞きしたく思います。

私が住む地域では、住民参加の清掃活動として非常に熱を入れて取り組んでおります。ごみゼロ運動としての取組みがなくなると、地域で回収したごみを出す手段が減ってしまうのではという心配の声も出ており、きれいな街づくりのためにもどうか続けていってほしいと思っております。

経済環境部長 ごみゼロ運動の市内一斉実施については、来年度も中止ということで決定がされております。その先については、新型コロナウイルスの影響が収まり次第、例年通りの実施となっていく見込みです。

私どもとしてはごみゼロ運動をしなくても済むような街を目指しているところ、達成のためには市内にとどまらない一層広い範囲でのご理解とご協力が必要です。ご協力いただいている皆様のお気持ちは再来年度の実施に繋げていきたいと考えております。

会長 パブリックコメントの実施に対して8件のご意見をいただいたということですが、市として今後取組んでいかなければならないことはたくさんあると思います。ご意見頂戴したことは大変ありがたいことだと思いますので、内容を基に取組みを進めていってください。

内田委員 資料1-2の12ページ1人1日当たりの家庭系ごみ排出量について、

令和7年度に令和元年度比4.6%の減量を目指すということ、大変すばらしい目標だと思います。しかしながら、その達成のためのヴィジョンや取組みが、計画の中では具体的に見えてきませんでした。

目標達成に向けてどのような取組みを考えてみえますか。

事務局

まずは可燃ごみに混入しやすい雑がみについて、分別の徹底を進めていくため、周知啓発用に雑がみ回収袋というものを作成いたしました。

環境センターで例年実施しております小学生向けの施設見学や地域への出前講座の際に配布し、雑がみの分別を呼び掛けていく予定です。

目標数値は高く、達成に困難が伴うことは承知の上ですが、目標の達成に向けて、ごみの減量化に引き続き取り組んでまいります。

内田委員

稲沢市第6次総合計画の中で、「若い世代を惹きつけるような」という言葉がありますが、若い世代は共働きの家庭が多いと思います。そのような中で資源回収が月1回というのは、排出が難しいのではないのでしょうか。

事務局

収集の方法については、今後見直しをしていかなければならないと考えております。将来的にプラスチック製容器包装とプラスチック製品を一括回収する方針が国から示されているところですが、それが形になれば、当市でも収集方法の大幅な変更が予想されます。これを一つの契機と考え、他のごみや資源についても見直しを図っていきたいと思います。

<午後2時15分> ●議題2「令和3年度ごみ処理実施計画について」

会長

それでは議題2「令和3年度稲沢市ごみ処理実施計画について」を議題とします。事務局から説明をお願いします。

事務局

<説明>

会長

説明が終わりました。全体を通して委員の皆様のご意見はございましたでしょうか。

吉田委員

2ページ(2)市民への周知啓発の推進のイで、「排出指導による分別マナーの徹底」とありますが、こういった取組みの効果についてはどう評価を行っていますか。

事務局

取組みの効果の検証は難しく、評価を行えていないというのが実情です。今後は適切な評価の方法について検討していかなければならないと考えております。

内田委員           フードドライブの案内をみると、寄付を受付ける食品は賞味期限表記があるものに限られています。消費期限表記の食品について、何か対応策があれば教えてください。

また、名古屋文理大学では現在 ICT 教育に力を入れているところであり、AI チャットボットのごみ分別ガイドのような取組みを、プロジェクトとして市と協同でやれないかと考えています。

経済環境部長       フードドライブやごみ分別ガイドについては、議題3「その他」で後程ご説明させていただきます。

会長                フードドライブについては、愛知啓成高校でも協力できないかということで、学生向けに周知を行っています。

フードドライブの周知にあたって、小学校や中学校などにも案内を回せばそれだけで大きな宣伝効果が見込めると思います。今後そういった情報発信の拡大をされていくようなお考えはありますか。

事務局             情報発信については、あらゆる有効な手段を活用していく必要があると考えています。

今回の春のフードドライブについては、稲沢市社会福祉協議会が主催となりますが、各ボランティア団体や稲沢市連合婦人会、老人クラブ等の団体に向けてチラシの配布を行っているということを伺っております。市としてもホームページや SNS への掲載等により情報発信を行っているところですが、ご意見いただきましたとおり小・中学校へのチラシ配布等更なる情報発信の拡大については検討していかなければならないと考えております。

会長                ありがとうございました。その他ご質問はありませんでしょうか。

(質疑なし)

<午後2時35分> ●議題3「その他」

会長                続いて「その他」として、事務局から何か報告はありますか。

事務局             <「フードドライブ」、「AI チャットボットごみ分別ガイド」、「リユース文庫」、「事業系リサイクル資源の受入れ開始」の4点について報告>

会長                このこと、また全体を通して、委員の皆さまから、何かご意見はございませんか。

では私から1点、ごみ分別ガイドの回答精度はいかがですか。

事務局                    稼働当初の精度はあまり良くはありませんでしたが、内部データの修正とAIの深層学習を経て、現在は大分良い動きになっていると思われます。

会長                        そのほか特になくありませんので、以上で本日の審議内容は終了しました。  
皆様のご協力、ありがとうございました。

<午後2時44分>●閉会